

## 市民による上小地域の地産地消推進事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

市民主体の地産地消推進と食農教育機能を担う拠点づくりとして、中心市街地の空き家を改装したコミュニティレストランを開設し、地元食材を扱える技能を養うとともに、助成や若年者の雇用を創出する。

また、生産者と消費者の顔の見える関係づくりや、食と農に関するイベント等を行い、農業を支えるとともに、中心市街地の活性化を図る。

### 事業内容

- 上田市柳町にコミュニティレストランを設立、ワンデイシェフシステムによる運営を開始
- 親子料理教室・おやき講座などの食農教育講座を10回開催
- コミュニティビジネスに関する人材育成講座を開催
- コミュニティレストランや商店街のイベントにファーマーズマーケットを開催・出店
- 地域食材を活用した商品開発のための勉強会を開催



【食農教育講座】

### 事業効果

- コミュニティレストランの設置運営により、専従者7名・短時間従事者17名の雇用を創出。客数は毎日20名を超え、リピーターも多い。また、シェフなどへの希望者も多く、地域外からもワンデイシェフシステムについての問合せがあるなど、事業の広がりが感じられる。
- 10回の食農教育講座に延べ179人の参加があった。農業者グループとの連携により、生産者と消費者の交流の機会づくりができた。
- ファーマーズマーケットを11回開催した。コミュニティレストランだけではなく、地元商店街での開催や県外での委託販売も実施し、信州農産物のPRを行った。コミュニティレストラン内でも随時農産物や加工品の販売を行っており、ランチメニューの販促効果を生み出している。



【ファーマーズマーケット】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- ファーマーズマーケットにおいて、正月の伝統料理や、信州の伝統野菜に認定されている山口大根を使うなど、季節ごとにテーマを変え、イベントを実施し、地域食材への関心を高めた。
- コミュニティレストランを今後も継続的に運営し、市民のコミュニティの場として、農家と消費者とによる地産地消を進める拠点とする。
- 食農教育講座や人材育成講座を継続し、地域食材を使いこなす人材育成を行う。また、市民の起業、スキルアップの講座を開催し地域志向の地産地消を目指す。

### 【選定のポイント】

地産地消の拠点として生産者と消費者が一体となって運営するコミュニティレストランを開設、日替わりシェフによるランチも知名度が上がり、更なる発展が期待できる。また食農教育講座やファーマーズマーケットなどの取り組みは、地域食材の活用や商店街の活性化に寄与した。

|         |                               |       |            |
|---------|-------------------------------|-------|------------|
| 団体名     | NPO法人食と農のまちづくりネットワーク<br>(上田市) | 事業タイプ | ソフト・ハード事業  |
| 連絡先     | 電話 0268-22-5968               | 事業費   | 3,940,123円 |
| メールアドレス | collabo_shokudo@yahoo.co.jp   | 支援金額  | 2,021,000円 |